

## 公開研究会

### 「大学の授業改善—より良い実践と研究法の確立をめざして—」

司会者 山地弘起（放送教育開発センター助教授）



司会者：定刻をまわりましたので、早速、公開研究会の方を始めたいと思うんですが、今日、進行を仰せつかりました高等教育研究室の山地と申します。どうぞよろしくお願い致します。今回の公開研究会は、本センターが初めて催しますオープンハウスの一環として行われますもので、特に高等教育の研究室を中心に致しまして行われているものです。通常は、「高等教育コロキウム」というタイトルで、部内での研究会と

いうことなんですが、これを今回は公開致しまして、皆さんからも忌憚のないご意見を是非お伺いしたいという、そういう企画でございます。

最初に今回のテーマ、「大学の授業改善—より良い実践と研究法の確立をめざして—」ということなんですけれども、このテーマの位置づけにつきまして、簡単にご紹介致します。皆さんのお手元に、もし「媒」という、こういう広報紙がありましたら、それをご参考になさって欲しいんですけれども。この「媒」の最初のページのところに、われわれ高等教育研究室の紹介が出ております。このセンターでは、研究開発部という組織の中に、教育メディア研究室、それから高等教育研究室、教材研究室という3つの研究室がございます。その中の高等教育研究室というところが、今回の公開研究会を行うわけなんですけれども、その中に大きく4つの共同研究の柱がございまして、1つは高等教育の構造と機能に関する研究。それから2つめは、大学の授業改善に関する研究。3つめは、教授学習に関する評価の研究。最後に、高等教育の社会への還元とか開放に関する研究、具体的には公開講座の研究ですとか、通信制大学の比較研究などを行っております。現在のところ、この4つの共同研究を柱に致しまして、全国のさまざまな大学からの客員教官の先生方、それから研究協力者の先生方にお手伝いいただきまして、研究を行っているところでございます。それでこの内の、今日は2つめの柱にあります、「大学の授業改善—より良い実践と研究法の確立をめざして—」という、共同研究の、現在の時点での中間報告と同時に、皆さんからの今後の研究への指針をいただくために、5人の方々に話題を提供していただきまして、皆さんの方からも、是非ですね、実際の授業における事例ですとか、あるいは普段お考えになっていらっしゃる問題点、あるいは解決策、そういったものをお互いに交流させて行きたい、というふうに考えております。

それから、事務的なことを幾つか申し上げますが、受付をまだお済ませでない方は、この研究会が終わりましたから結構なんですけれども、入口のところでお受けをお願い致します。それから、皆さんのお手元にアンケート用紙がまわっておりますけれども、今回のこの公開研究会について、われわれ振返りをしたいと思っておりますので、皆さんからのご意見、そ

れからご要望等を、是非記していただいて、こちらの方に出していただければ、というふう  
に思っております。それから質問等を随時お願いしたいんですけども、質問、コメントで  
すね、その際に所属とお名前を是非ご紹介いただきたいと思います。これは録音の関係で、  
皆さんからのご意見を後でまとめさせていただく予定ですので、われわれの研究会の資料に  
させていただきますので、是非、お名前とです、ご所属をお願い致します。それから最後  
に、この公開研究会の模様、あるいはこのオープンハウスとかそのシンポジウム全体を通じ  
てなんですけれども、いま後ろにカメラとマイクが参っておりますが、この放送教育開発セ  
ンターの紹介ビデオを現在制作中でありまして、その関係で皆さんの顔がひょっとして入  
るかも、カメラの方に映されることがあるかも知れません。その点についてご了承いただき  
まして、煩わしいことがあるかも知れませんが、どうぞお許し願いたいというふう  
に思いますので、その点もよろしくお願い申し上げます。

それでは、最初に問題提起を伊藤秀子助教授の方からお願い致します。

## 共同研究の概要と問題提起

### 伊藤秀子（放送教育開発センター助教授）



**伊藤：**先程ご紹介いただきました共同研究班の主査  
をやらせていただいております伊藤でございます。こ  
の研究プロジェクトは昨年発足しまして、3年計画で  
やっております。今年は2年目で、ちょうど中間段階  
ですので、こちらの発表と共に、皆さんからもいろ  
ろご意見をいただきたいと思ひまして、公開研究会を  
計画致しました。まず、私共の研究プロジェクトの目  
的をお話しします。

大学における教授学習過程を映像化して、その形態と機能を分析し、授業改善のための支  
援システムを開発することを目的としています。これによって大学間の共同研究体制を確立  
し、大学教育の向上と革新に貢献しようというわけです。(図I-1)

次に具体的な方法についてお話しします。これは、お隣の小会議室の方にパネルの展示も  
してございますので、また後程ご覧になっていただきたいと思ひます。図I-2に示すよう  
に、これが大学です。大学では、講義とか、実験とか、ゼミ、演習、実習などいろいろな形  
態の授業が行われております。それを映像に撮ります。そして、基本的にはその授業をなさ  
った先生が、ビデオをまず自分で見直してみます。つまり、自分の授業を振り返って工夫・改  
善に役立てようということを計画しております。勿論、研究会に持寄って、皆で検討したり  
とか、そういうことも致しますけれども、まず自分の授業を研究対象として、自分でビデオ  
を見直して改善点を探り出そうというわけです。こういう映像が、センターの方に集まって  
参ります。それから、その他にいろいろ工夫・改善の事例についての調査を行ひまして —